



令和7年1月号

この号の内容

巨理消防署

- 1 合同山岳救助訓練
- 2 救命講習会受講者募集
- 3 秋季火災予防運動
- 4 消防技術競技会

山元分署

- 5 山元町防災訓練
秋季火災予防運動
- 6 救命講習会
- 7 山火事立看板現地調査

巨理消防署だより

【広報誌】

亘理消防署

合同山岳救助訓練

令和6年10月22・29日に岩沼市グリーンピア岩沼において、岩沼・亘理署救助隊合同山岳救助訓練を実施しました。

あぶくま消防本部管内の岩沼市、亘理町、山元町には、登山コースやハイキングコースがあり、ケガや急病で救急要請があります。その場合、足場が悪い山道や急斜面が多く、救急隊だけでは搬送に時間を要してしまいます。

この訓練では、安全迅速に救助活動や搬送の支援を行うために、2署の救助隊が連携を図り、実災害に即した訓練を実施することができました。



要救助者を搜索



要救助者を搬送する担架に固定



要救助者を乗せた担架を搬送



要救助者を安全に搬送するため立木を支点にロープで引き上げながら搬送

「目の前で誰かが倒れてしまったとき

あなたは勇気を持って行動することが出来ますか？」

特別な資格が無くても、誰にでも行えるのが応急手当です。万が一の事態に備えて、応急手当の知識と技術を身につけてみませんか？受講内容は心肺蘇生法・AED 取り扱い・止血法や気道異物除去法等の応急手当を学ぶことができます。講習会は通常、座学 1 時間と実技 2 時間の受講で修了証が交付となります。また、事前にスマートフォン等で応急手当 WEB 講習を受講していただくと、座学の1時間が免除になります。受講申し込みや、講習会に関する事でご不明な点等ございましたら、お気軽に消防署までお問い合わせください。

皆様のご参加を心からお待ちしております。

開催日時:毎月 9 日、9時から12時まで

WEB 講習を受講した場合は10時から12時まで

開催場所:亘理消防署

受講料:無料

申込方法:電話連絡で受け付けています。

亘理消防署 救急係 Tel0223-34-1155(内線 329)

その他:申し込みについては、前月末日まで連絡下さい。



胸骨圧迫の位置を指導



AED の電極パッドの貼り付け

秋季火災予防運動

火災予防運動は、ストーブやガスコンロなどの火気を使用し、火災の発生しやすい時季を迎えるにあたり、住宅防火対策、製品火災の発生防止に向けた取組みの推進などにより、住民一人ひとりの防火意識を高め、火災の発生を防止し、火災による死傷者の発生や財産の損失を防ぐことを目的に毎年実施しています。

亘理消防署ではチラシ配布や街頭広報などを実施し、亘理町の防火防災意識向上のために取り組んでいます。そのため主に春や秋には消防車の警鐘を鳴らしながら町内を走行することがあります。休まれている方や育児で小さなお子様を寝かしつけている方もいるとは思いますが、みなさまのご迷惑にならない程度で実施させていただきますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

朝の街頭広報



店頭での広報活動



あぶくま消防本部からのお知らせ

住宅火災

火災予防と避難時の行動

火災を予防する

- ・寝たばこをしない・させない
- ・ストーブや電気製品の周りに燃えやすいものを置かない
- ・コンロなど火を使う際は近くから離れない
- ・コンセントはほこりを清掃し、不要なプラグは抜く

逃げ遅れを防ぐ

- ・**住宅用火災警報器**を定期的に作動点検する
- ・カーテンなどを**防災品**にする
- ・高齢者や身体の不自由な方は**避難経路**と**避難方法**を常に確保し、備えておく（避難口に近い部屋を寝室にする）

火災時の避難のポイント

- ・貴重品を取りに**戻らない**
- ・**低い姿勢**でハンカチなどで口と鼻を覆う

火災の煙は**有毒**です。煙を吸わないように避難することが大切です。



問合せ先: あぶくま消防本部 亘理消防署 TEL 0223-34-1155

令和6年度消防技術競技会

令和6年12月6日、亘理消防署訓練場において、消防技術競技会を実施しました。

この競技会は、岩沼・亘理・山元各チームで競技内容を企画・立案・実施し、職員のスキルアップ、モチベーション及びチームビルディングの向上を目指すことを目的として行われました。

車外救出訓練



事故車両から要救助者を車外へ救出

低所救助訓練



地上にいる要救助者を引き上げるためのロープを設定

火災救助訓練



2階にいる要救助者を救出するため、消火活動をするとともに救助隊員がはしごを登って建物に進入しようとしています

高所救助訓練



高所にいる要救助者を救出するため、はしごを使用して担架に乗せた要救助者を地上へ降ろしています

山元分署

山元町総合防災訓練

令和6年10月20日に、山元町の全町民を対象とした総合防災訓練が実施されました。

午前9時に地震が発生した想定で実施。訓練開始のサイレンを合図に徒歩などで町内20ヶ所の避難所に避難し、ロープ結索や水消火器を使用した初期消火訓練を行いました。

住民の皆さんが熱心に訓練に取り組んでおり、防災意識の向上を図ることができました。

今回の訓練を振り返り今一度、災害時の対応を確認しましょう。



秋季火災予防運動

令和6年11月9日から11月15日まで「秋季火災予防運動」を実施し、火災への注意を重点的に呼びかけました。

亘理消防署山元分署では、火災予防運動の一環として、懸垂幕及び防火旗の掲示、管内事業所等への防火ポスターの配布、店舗での街頭広報を実施しました。

また、令和6年の秋季火災予防運動の推進項目として掲げておりました防火対象物における防火安全対策の徹底として、独立行政法人国立病院機構宮城病院へ立入検査を実施しました。

消火器や誘導灯などの消防用設備の維持管理状況を確認するとともに、防火戸や避難経路など防火設備の点検を行うことで、関係者の防火管理意識の向上を図りました。



救命講習会

令和6年11月8日、山元町立山元中学校において、校内総合防災訓練の一環として、中学2年生を対象に救命入門コースを実施しました。

生徒みんなが、心肺蘇生法及び AED 取り扱いを習得するため、一生懸命に胸骨圧迫をし、真剣な眼差しで AED のショックボタンを押していました。

講習会終了後には、救命入門コース参加証を交付し、改めて救命の大切さと、一歩踏み出す勇気を実感することが出来たと思います。



生徒が胸骨圧迫を実施



生徒が AED のパッドを人形に装着

山火事立看板現地調査

山元町と角田市にまたがる深山は、ハイキングルートも整備されているほか、頂上付近からの眺望も開けており、地元の人々に愛され、様々な魅力を秘めた標高 287 メートルの低山で、現在、デイキャンプ場整備のため、改修工事を実施しております。

近年全国で大規模な山林火災が発生しており、登山者の目につきやすい場所に設置された、山火事立看板の点検と現地調査を実施しました。

山火事の発生には季節的な特徴があります。

山火事の約 7 割は、冬から春(1 月～5 月)にかけて集中して発生しています。

冬は森林内に落ち葉が積もって燃えやすい状態になっていることや、風が強いこと、特に太平洋側は乾燥した状態になるといった自然条件が重なります。

また春先は、行楽や山菜採りのために山に入る人が増加するほか、農作業に由来する枯草焼きなどが山林に飛び火することも原因とされています。

山火事立看板調査を通じて、登山やハイキングなどで山林内に入山する方々の視覚に訴えて防火意識を喚起し、深山の自然が織りなす四季折々の姿を今後も堪能できるよう啓発活動を継続していきます。

